



西 正博

指定避難所の  
バリアフリー状況は

市長

4か所の拠点避難所は高齢者等の利用に配慮

**西** 市内には34か所の避難所を指定されているが、バリアフリー化の現状について質問する。

エレベーターは1階建ての22施設を除き、5施設が設置7施設が未対応だ。

**教育部長** 1校でスロープが未設置で、計画すべき。多目的トイレの未設置解消も計画していく。

西 避難所に指定

**市長** 気象状況等で災害発生が想定される場合は早めの避難所開設をしている。市内4か所のゆめぷらっと小城、ドゥイング三日月、牛津公民館、ひまわりを拠点避難所として開設する。避難者については高齢者の方が多い傾向があり、バリアフリーなど高齢者等の利用に配慮した施設を選定している。

されている市内12の小中学校のバリアフリーの状況は。国は令和7年度まで、補助率を3分の1から2分の1に上げ、小中学校施設のバリアフリー化を進める指しを出していると思うが状況は。

**教育長** 市内未整備の施設は計画的に準備する。

**総務部長** 車椅子用トイレは23施設、スロープは30施設に設置している。



▲避難所看板の一例（市のウェブサイトより）



江島 佐知子

コロナ禍での  
放課後児童クラブ

教育長

感染防止対策で切れ目のない運営をする

**江島** コロナ発生以来2年間、放課後児童クラブは感染防止対策に努めながら休むことなく運営されている①待機児童は②クラブの環境整備は十分か③支援員のリーダー制は確保できているのか、研修は。

対応、児童虐待、運営方針等実施、厚労省や佐賀県のガイドラインに沿った運営をしている。

川の築堤（引堤）、河道掘削、排水ポンプの増強に着手。農業用ため池の事前放流、水路の整備、田んぼダム等がある。

牛津川遊水地事業は  
住民に寄り添って

その他の質問

○小城市過疎地域持続的発展計画について

**江島** ①土砂災害・地滑り災害復旧の進捗状況。②牛津川遊水地事業は地元への丁寧な対応が必要。③その他の水害対策。

**教育長** ①令和4年度の申請では2月25日時点で16名、保護者就労状況等に配慮しながら決定している②新型コロナウイルス感染症対策臨時交付金を活用して抗菌仕様畳への交換等要望に答えている③業者でも対応している④支援リーダー制は継続している。研修はコンプライアンス、ADHD等の

**市長** ①令和4年度中には完了する見通し、焼山の地滑り災害は経過観察中。②個別の相談に応じながら進めていく。③牛津



▲感染対策をして運営する放課後児童クラブ



中島 正樹

市長

子育てしやすい  
小城市を目指す

少子化対策は重点施策

**中島** 市における少子化  
対策の課題と方針の考  
えは。

**福祉部長** 現在、核家族  
化や地域で交流がうまく  
できていないなどによ  
り、家庭での子育ての孤  
立化が見られる現状があ  
る。令和2年度に設置し  
た「子育て世代包括支援  
センター」で様々な支援  
を行っているが、本年4  
月からは子ども家庭総合  
支援拠点を設置し、セン  
ターと連携し更なる支援  
強化に取り組む。今後も  
関係機関と調整を図りな  
がら、状況に応じたきめ  
細かい支援を行うことに  
より、子どもが自分らし  
く笑顔で育っていけるま

ちを目指していく。

**中島** 不妊治療の現状と  
今後は。

今回4月1日より、不妊  
治療が保険適用へ移行す  
ることとなるが、市とし  
ても早急に方向性を出し  
ていきたいと思う。

**福祉部長** 国、県、市で  
助成制度を設けている。



▲不妊治療が保険適用へ



藤田 直子

病院事業  
管理者

高額で更新は困難、  
空間分解  
能で向上する

統合病院医療機器の  
最新性能を

**藤田** 小城市民病院の高  
度医療機器導入状況は。

**病院事業管理者** 医療機  
器は分解能力をあげ部分  
修理でバージョンアップ  
している。3Dマンモグ  
ラフィーは導入していな  
い。

**藤田** 患者の被曝制御が  
でき、検査時間短縮高速  
機械静音設計を希望する。

**市長** 今年5月までの期  
間で業務委託している。

その他の質問

○小城市学校いじめ防止  
策について

○小城市庁舎太陽光発電  
のオフグリッドについ  
て



▲日進月歩の医療界。患者に負担軽減機能を





松並 陽一

芦刈町をどのように発展させるか

市長

過疎対策事業の計画をしつかり立て、推進する

松並 芦刈町の過疎対策事業債の内容は。

総務部長 元利償還金の70%は普通交付税の基準財政需要額に算入され、市の負担は事業費の30%となる。ハード事業の上限額は無いが、県により調整される。

松並 移住定住の奨励金と空き家改修補助金は予算化されているが、他の方策は。

企画政策課長 新規事業の洗い出しを各担当課に依頼中である。

松並 芦刈町への企業誘致や買収物ができる店舗

の誘致など、過疎対策事業債の大胆な活用は。

市長 高規格道路による交通の利便性も活かし、民間とも連携していく。

災害に強いまちづくり

松並 防災行政無線を聞き取れない場合の対応は。

総務部長 小城市情報アプリの活用が有効である。ダウンロードと活用方法の啓発に努めていく。

その他の質問

〇コロナ禍での遠隔授業の状況



▲防災行政無線を知らせるアプリOgi Ogi



香月 チエミ

身の丈に合った予算編成が必要だ

市長

予算の健全化に努め、計画的に財政運営する。

香月 令和4年度当初予算のポイントは。

市長 歳出面では引き続き新型コロナウイルス感染症対策が最優先課題。また「防災・減災体制の充実」を重点施策として位置づけ、牛津川遊水地整備事業等に取り組み。

香月 平成31年度決算の経常収支比率は97・9%で財政の弾力性が失われ危険信号が出た。令和2年度は92・5%と減少したがその要因は。

総務部長 平成31年度はふるさと応援寄付金の減少や、下水道特別会計への繰出し金の増加等が理

由。令和2年度は、クリーンヒル天山運用開始に伴う処理委託料の減額や下水道事業の繰出し基準の変更に伴う経常経費の減少等によるもの。

加え、橋梁補修、牛津川遊水地事業、小城市蔵工業団地線災害復旧等、市民の安心・安全に関連する大きな事業での増となっている。

香月 令和4年度は、対前年度当初予算額を上回っている。その理由は。

財政課長 基本的に経常経費については昨年度を上回らないというところがある。ターゲットだ。その中で社会保障費に



▲架け替え工事予定の安心橋（小城市）



松尾 義幸

## 小城市須の木の井堰の 改修は

**産業部長** 流域面積が大きいと県の補助  
事業対応もある

**松尾** 農業用水取水施設  
について。①河川の中の  
井堰の管理、維持、保全  
は。河川ごと幾つの井堰

があるか。②清水川に設  
置されている小城市須の  
木の高速道路高架下の井  
堰の改修は。③地元から

いつ頃という  
要望が寄せられ  
たか。

**市長** ①市内9

河川に79か所の  
農業用取水堰が  
あり、それに附  
帯する取水口が  
81か所。取水施  
設の管理は、地  
元の水利組合な  
ど管理団体が所  
有し、管理して  
いる。

**産業部長** ②老  
化等による損傷

がひどい農業用施設が被  
災した場合、災害復旧事  
業の対象とならない。地  
元が事業主体となり、小  
城市農業用施設機能管理  
事業か、小城市営環境整  
備事業などを紹介してい  
る。③令和3年10月、地

元の方が、農村整備課窓  
口に来られ、呑水井堰は  
農業用だけでなく河川の  
流下速度の抑制など防災  
面の機能を担う施設でも  
あることから、地元分担  
金が少ない事業による全  
体的な補修の相談を受け  
ている。各井堰の面積、  
いわゆる流域面積が大き  
いものについては、県の  
補助事業等もできる場合  
もあるので、県と相談し  
ながら対応したい。



赤松 貴子

## 低い投票率から どう考えるか

**市長** 市政発展のためには関心を  
持ってほしい

**赤松** 今回の市議会議員

選挙において、全体の投  
票率は48・9%、平成30  
年は56・63%、また昨年  
3月に行われた市長選挙  
においては35・55%とい  
う結果はどう考えるか。

**市長** 市長選挙及び市議

会議員選挙の投票率がい  
ずれも前回の選挙を7ポ  
イント以上下回る結果と  
なっており、全国的にも  
投票率の低下が問題に  
なっており、市政発展の  
ためには、より多くの方  
に関心を持ってもらい一  
票を投じてほしい。

**赤松** 市長選挙の35・  
55%という投票率から負  
託されていると言えるか。



▲市内投票所

**市長** 市民の皆さんの  
元にお邪魔し、「語る会」  
も全域でやっていき、少  
しでも市民の皆さんの市  
に対する考え方や御意見  
を直接聞くことも非常に  
大事と思っている。

**赤松** 小城市における市  
民への対応の場の今後の  
予定は。

**市長** 令和4年度から市  
内181の全ての地区を  
対象に開催予定。また、  
SNSやオンラインなど  
も協議をし取り組んでい  
く。

### その他の質問

○たなだ部について





中尾 勝吉

## 市道の交通安全対策は

### 教育長

子供達の安全に向けた対策の協議をしている

**中尾** 子供達の通学で交通事故の危険性がある所は、歩道など設置し、早急に対策はできないか。

3月議会に補正予算を計上しスピード感を持った対策、整備を進めていく。

**教育長** 市道大井手平原線については、昨年7月地元区長や関係者による朝の通勤、通学状況を確認した。その合同点検を踏まえ、小城市通学路安全推進協議会において危険箇所として計上し、道路管理者の小城市と改善に向けた対策の協議を行い、早急に対応する重要な課題と認識している。

**建設部長** 現在、市道大井手平原線について歩道設置の計画はない。喫緊の課題として早急に子供達の交通安全ができることは、カラー舗装などを実施し、安全対策を行っていく。

**中尾** 道路の法面を垂直にすれば路肩が広くなり、歩道にはできないか。

**建設部長** 道路の整備計画を行う上での検討材料として、参考にする。

**市長** 当該区間の安全対策について市の担当課と協議し、大井手平原線安全施設整備工事として、



交通安全が望まれる大井手・平原線



諸泉 定次

## 通知表の成績2期制の定着策は

### 教育長

保護者が理解できる成績の確認を後押しする

**諸泉** 市内の成績2期制の現状と教育委員会の対応はどうしているのか。

成績2期制または完全な2学期制を取り入れていく学校が増えている。

市内でも令和3年から実施し令和5年にかけて実施予定の中学校校区が一つある。

う後押しするのか。

**教育長** 元に戻ることは絶対に避けてもらいたい。また、小中連携で中学校校区で教職員が議論し、子どもたち保護者が理解でき持続可能な成績2期制を後押ししていく。

**学校教育担当部長** 成績通知表については、子ども自身や保護者に学習の状況を伝え、その後の学習支援に役立てるために作成しており、その扱いや記載の内容、方法、様式などは各学校に委ねられている。

**諸泉** 市内で過去実施した、3年で取りやめた学校もある。保護者の理解と教職員の意識改革もないと働き方改革とならない。教育委員会としてどう

### その他の質問

- 支館の給食センター移転
- コロナ禍の生活支援
- 市議選の投票時間、開票時間の短縮について

子ども一人ひとりにきめ細やかな教育の実現や学校における働き方改革を推進しており、県内でも学期制とは別に、年3回の通知表を年2回の



▲年2回の成績2期制は県内で増加している



泉 万里江

## 風水害時の 避難を促すには

市長

有効な避難情報発令や避難所  
開設に努める

**泉** 風水害時に住民が安心して避難行動ができるための取り組みは。

**市長** 早めの避難情報発令、明るいうちの避難所開設等に努める。自助共助公助の連携で住民の安全確保につなげる。情報伝達ツールとして防災無線放送が文字で確認できる情報アプリ「ogioogi」はプッシュ通知機能もあり、災害時だけでなく日頃から生活情報収集としても多くの市民に活用してほしい。

**総務部長** ホームページの多言語対応、災害対応ブック、多言語通訳コールセンター等を研修会等で伝えている。

**泉** 要配慮者が安心して避難できる取り組みは。

**福祉部長** 避難生活が困難で支援や配慮が必要な方は福祉避難所へ案内。拠点避難所は障害者用トイレがありバリアフリー対応で避難用ベッド等の準備もあるので避難所の一室で対応。避難行動要支援者は民生委員等地域の協力を得て、災害時に早めの避難を心がけてもらっている。

**泉** 日本語に不慣れな外国人への対応は。

**市長** 小城市は午前中だけ人員配置をされる。牛津駅については、令和4年3月12日より駅員が不在となって、販売業務や改札業務が廃止されている状況。市としては、JRより無人化の説明があった際、高校生の駅利用状況、駅待合室の活用状況をJRへ説明し、駅員の配置をお願いしたところですが、昨年3月の営業時間短縮に続き、さらに無人化になるといふことで、牛津駅利用者の利便性の低下について懸念をしている。今後は、これ以上の利便性の悪化は避けていただきたい。まずは発券機の継続をお願いしていく。それと、ICカードの実現等を改めて要望する。県との連携事業として、無人駅「まち駅」づくりプロジェクトということで、無人化される駅について、県のほうも支援を検討されてお



深川 高志

## 牛津駅無人化に対する 市長の見解

市長

これ以上の利便性の悪化は避けていただく

**深川** JRの経営改善計画により、駅体制見直し報道されており、令和4年3月から小城市では午前中のみ常駐ということ。牛津駅は無人化ということだが、このことについて江里口小城市長の見解は。

**市長** 小城市は午前中だけ人員配置をされる。牛津駅については、令和4年3月12日より駅員が不在となって、販売業務や改札業務が廃止されている状況。市としては、JRより無人化の説明があった際、高校生の駅利用状況、駅待合室の活用状況をJRへ説明し、駅員の配置をお願いしたところですが、昨年3月の営業時間短縮に続き、さらに無人化になるといふことで、牛津駅利用者の利便性の低下について懸念をしている。今後は、これ以上の利便性の悪化は避けていただきたい。まずは発券機の継続をお願いしていく。それと、ICカードの実現等を改めて要望する。県との連携事業として、無人駅「まち駅」づくりプロジェクトということで、無人化される駅について、県のほうも支援を検討されてお

**市長** 小城市は午前中だけ人員配置をされる。牛津駅については、令和4年3月12日より駅員が不在となって、販売業務や改札業務が廃止されている状況。市としては、JRより無人化の説明があった際、高校生の駅利用状況、駅待合室の活用状況をJRへ説明し、駅員の配置をお願いしたところですが、昨年3月の営業時間短縮に続き、さらに無人化になるといふことで、牛津駅利用者の利便性の低下について懸念をしている。今後は、これ以上の利便性の悪化は避けていただきたい。まずは発券機の継続をお願いしていく。それと、ICカードの実現等を改めて要望する。県との連携事業として、無人駅「まち駅」づくりプロジェクトということで、無人化される駅について、県のほうも支援を検討されてお



▲無人駅となった牛津駅





谷田 信二

## 下水道の広域化、共同化の推進

### 市長

広域化、共同化の対応は重要性を増している

**谷田** 国の重点政策として下水道の広域化、共同化を推進する方向、小城市としての考えは。

で、農地を縦断して通る道路、最近は通行車輛も増加して、安全性が問題。

### 建設部長

**市長** 広域化、共同化計画の策定が社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金の交付要件とされており、広域化、共同化の対応は重要性を増している状況。

は旧広域農道と呼ばれた路線で、農道の基準で整備された道路と推察します。車道幅員3m、外側線を含めた路肩の幅が40cmから55cm、路肩を人が歩くのは、通行車輛との

距離が近く、接触する恐れもあることが分かりました。道路構造的に人が歩ける幅員ではないので、地域住民の方々と安全対策を協議し、現状を見極めていきたい。

### その他の質問

○ワクチン接種事業、西平川堤脚水路

### 三ヶ島大和線の安全性

**谷田** 以前は個々の離れた農地、地域を結ぶ広域農道で、生産物の向上、農産物物流の合理化、農業生産の合理化を目的として造られた広域農道



▲旧広域農道として整備された路線

## 令和2年7月豪雨災害特別委員会報告

(期日) 令和4年3月16日

**質問** 市道小城岩蔵工業団地線災害復旧工事の進捗状況と完成予定は。

**答弁** 法面にアンカー、受圧板の工事をしていく。3～5段目部分は終了し、1段目2段目の工事中。5月末までに終了し、6月から道路復旧に入る予定。夏前には完了したいが天候の影響等もあり余裕を持って工期は来年3月末にしている。

**質問** 設計を民間業者で発注し、市が発注した業者が施工と施工管理を実施している。管理業務まで行き届く体制がとられているか。施工基準はどうなっているか。

**答弁** 国交省の災害査定で内諾をいただいているので問題はないと思う。施工基準は佐賀県の施工管理基準に則っている。



▲復旧が進む災害現場